

## 米国独立記念祭2023に参加



神奈川地方協力本部相模原地域事務所（所長 新妻一陸尉）は、7月1日（土）、座間市の米軍基地「キャンフ座間」において、米国独立記念祭2023に参加し広報ブースを出展しました。このイベントはアメリカの独立記念日を祝うお祭りであり、毎年行われている基地一般開放イベントです。会場には、巨大ピザ等の日米フードブースや米軍の装備品展示等が出展され、ステージでは音楽ライブ等のエンターテインメントも楽しめました。また、締めくくりには花火大会も開催されました。

当日は、午前中に降っていた雨も上がり、キャンフ座間の野球場付近において、陸上自衛隊第4施設群の装備品展示の横で、募集相談員の支援を受けながら募集広報ブースを出展しました。

自衛隊ブースの災害派遣パネル展示及び展示用偵察バイクには、多くの子ども達が集まり、行列ができるほどの盛況でした。

募集相談コーナーでは、適齢者に対する入隊制度の説明等も行い、「自衛隊にもすごく興味があります」「甥っ子がすごく自衛隊に興味を持っており、高等工科学校について話を聞かせてください。早速勧めてみます」と多くの方が大変熱心に説明を聞いてくださいました。また、「私の息子も今年、高等工科学校に入校し頑張っています。皆様も頑張ってください」という励ましのお声をいただくなど、自衛隊に対する理解を得られました。

相模原地域事務所は、「今後も、募集相談員会等と連携し、地域のイベントの場を活用して市民に密着した広報活動を行い、自衛隊の理解を更に深めるとともに、自衛官募集の成果につなげていきたい」としている。

## 3業種の公務員合同職業ガイダンスで自衛隊の魅力をPR

神奈川地方協力本部市ヶ尾募集案内所（所長 細田2等空尉）は、令和5年7月7日（金）、横浜市緑公会堂（横浜市緑区）において、海上保安庁第三管区海上保安本部と神奈川県警察の協力のもと、公務員合同職業ガイダンスを行った。開催にあたっては、18歳の募集対象者へダイレクトメール送付や、神奈川地本、横浜市緑公会堂等のHPへの開催告知の掲載などで、多くの参加者を募った。

当日は、参加者を3グループに分けて各機関の説明を順番に実施した後、各機関のブースでの個別説明の時間を設けた。自衛隊ブースでは、片山広報官（次長・1等陸曹）が短い時間で魅力を伝えるため「今日覚えてほしい三つのポイントはこちらです」との一声で説明をスタート。陸海空の自衛隊の仕事内容や、自衛官の普段の生活、自衛官になるための方法について、参加者が興味を持ちそうな話題を交えながら説明を進めた。片山広報官は、大学卒業後、社会人経験をしてから自衛官となった経歴を生かし、一般企業のサラリーマンと公務員の違いについても説明し、多くの参加者が聞き入っていた。

高校生や転職活動中の参加者からは「自衛隊の説明を初めて聞きました。興味を持つことができました」とや「一般企業での勤務経験がなかったので、公務員の魅力に惹かれました」と嬉しい感想を聞くことができた。

また、この合同職業ガイダンスの参加者の一人が「各自衛隊について更に詳しく話を聞きたい」と後日市ヶ尾募集案内所まで足を運んでくれた。陸海空の自衛官が揃っている強みを活かし、細田所長（2等空尉）、木村広報官（2等陸曹）、山崎広報官（2等海曹）それぞれが各自衛隊の特色をより詳しく説明して魅力をアピールしたところ、所長と各広報官の熱意が伝わったのか、海外勤務に興味を持ち、9月の一般曹候補生試験を海上自衛隊希望で受験することを決めてくれた。その他のガイダンス参加者も現在受験を検討しており、引き続き担当広報官がフォローを行い志願票獲得に向け連携している。

市ヶ尾募集案内所は「今後も各機関と協力をしながら、自衛隊の魅力を多くの対象者に発信していきたい。一人でも多くの志願者獲得に向け、地域に密着した募集広報活動を進めていく」としている。



## 自衛隊相模原地域事務所部活動応援企画「ジョイトレ」を実施

自衛隊神奈川地方協力本部相模原地域事務所（所長 新妻一陸尉）は7月8日（土）、海上自衛隊横須賀地区送球会の支援を受け、高校生に対し部活動応援企画「ジョイトレ」を実施した。今年も昨年に引き続き、送球会と合同練習をしたいと相模田名高校、上溝高校及び厚木北高校の3校が参加した。当日は、相模原地域事務所に58名が集合・出発、横須賀地方総監部に到着後、自衛隊及び3校の代表者が挨拶、約2時間練習試合を実施して汗を流した。試合終了後は相模原地域募集相談員会からの激励品贈呈及び記念撮影後、三笠公園に移動して戦艦「三笠」の見学を行った。

生徒からは「体育館が広く充実した施設なので、のびのび練習ができました」「自衛官の皆さんからとてもやさしく教えてもらいました」「海上自衛官を目指し自衛隊で勤務したい」などの声が聞かれ、学校教諭からは「今年もこの練習ができたこと、自衛隊及び他校との練習で得たことをきっかけに今後の大会に臨みたい」と今後の競技に向けての抱負が聞かれた。

また、送球会の担任官は、「このような訓練を企画してくれて感謝しています。この中から海上自衛官を目指してくれる生徒が出てくれることを願います」と語った。

相模原地域事務所は、「今後も、コロナに留意しながら自衛隊と学校部活動との「ジョイトレ」を通じて、自衛隊の活動を積極的にアピールしていきたい」としている。

